平成 24 年 3 月 16 日

化学工学会エネルギー部会
平成 23 年度第 2 回総会議事録（案）

日　時: 平成 23 年 3 月 16 日（金）12:00-13:00

場　所: 工学院大学新宿キャンパス I 会場（7 階 A-0715）

出席予（敬称略）: 倉本浩司、野田玲治、小林信介、大友順一郎、菊地隆司、長谷川功、清水忠明、汲田幹夫、二宮善彦、菅原勝康、諸岡成治、西村顕、隈部和弘、四十物清、桜井誠、成瀬一郎、植木保昭

1．報告事項

(1) 平成 23 年度理事会報告　**: 回覧**

(2) 平成 23 年度秋季大会エネルギー部会企画シンポジウムについて　**: 資料 24-3 総 1**
成瀬部会長より報告があった。

(3) 化学工学会年鑑 2011　**: 資料 24-3 総 2**
成瀬部会長より報告があった。

(4) 主催・共催・協賛等について　**: 資料 24-3 総 3**
成瀬部会長より報告があった。追記等については修正済み（赤字）。その他、追記および修正等ある場合は事務局まで。

(5) 各分科会平成 23 年度活動報告（部会 Web への掲載情報）
平成 23 年度分の各分科会主催のシンポジウムおよび研究会等の成果報告書を作成し、至急、事務局まで電子媒体として送付頂く。それらは部会 HP にアップロード。
各分科会より説明があった。
- i) 炭素系資源利用分科会　**: 資料 24-3 総 4**
- ii) 熱利用分科会　**: 資料 24-3 総 5**
- iii) バイオマス分科会　**: 資料 24-3 総 6**
- iv) 燃料電池・電池分科会　**: 資料 24-3 総 7**
- v) 新エネルギー・エネルギーシステム分科会　**: 資料 24-3 総 8**
- vi) 微量成分分科会　**: 資料 24-3 総 9**

(6) その他
なし

2．審議事項

(1) 平成 23 年度第 1 回総会議事録（案）　**: 資料 24-3 総 10**
審議の結果承認された。修正等ある場合は事務局まで。

(2) 平成 23 年度決算について　**: 資料 24-3 総 11**
植木より説明があり、審議の結果承認された。

(3) 平成 24 年度事業計画　**: 資料 24-3 総 12**
成瀬部会長およびシンポジウムの各オーガナイザー、各分科会より説明があり、審議の結果承認された。
熱利用分科会より、若手研究者および学生を対象とした勉強会開催を検討中であり、部会にご協力願いたいとのこと。

燃料電池・電池分科会より、秋季大会シンポジウムにて若手研究賞（仮称）を設ける予定とのこと。

(4) 平成 24 年度予算について　　**：資料 24-3 総 13**

植木より説明があり、審議の結果承認された。

(5) 部会規約の修正について　　**：資料 24-3 総 14**

成瀬部会長より説明があり、審議の結果承認された。

(6) その他

・部会 CT 会議にて、部会で教科書・専門書（シリーズもの）の出版を検討してほしいとのこと。審議の結果、情報を収集し、再度検討することとした。

・部会シンポジウム要旨集の発刊について、化工英文誌もしくは和文誌で特集号を組んではどうか、掲載料の半額を部会で支払ってはどうか、講演を評価して推薦してはどうか、部会横断型のシンポジウムはどうするのか、などの意見が挙がった。審議の結果、掲載料等の情報を収集し、再度検討することとした。

３. 連絡事項

(1) 次回幹事会・総会について

i)　平成 24 年度第 1 回幹事会

平成 24 年 9 月 19 日（水）：秋季大会（東北大学）第 1 日の夕刻を予定

ii)　平成 24 年度総会

平成 25 年 3 月 18 日（月）：年会（大阪大学）第 2 日の昼を予定

(2) その他

なし

資料 24-3 総 1

化学工学会 第43回秋季大会 エネルギー部会系 シンポジウム			
シンポジウムタイトル	概要	担当分科会	オーガナイザー
環境汚染物質としての微量成分の評価と放出制御	重金属などの微量成分の人為的放出は依然としてエネルギー産業の負うところが大きい．一方でリサイクル資源の利用拡大等とともに微量成分マテリアルフローは複数の産業やプロセスをまたいでますます複雑化している．そこで本シンポジウムは微量成分というキーワードのもとに石炭，廃棄物，環境保全，環境分析等にかかわる研究者が一堂に会して分野横断的な議論を行う場としたい．	微量成分分科会	義家 亮（名大）、神 柱 大 助（出光）、野 田 直 希（電中研）、倉本浩司（産総研）
エネルギーシンポジウム	将来を見据えた社会構造・システムの変革が求められている現在、社会インフラの根幹を担うエネルギー技術・システムの革新もまた不可欠な状況になりつつある。そこで炭素資源等からのエネルギー発生・変換、各種エネルギーの貯蔵・利用に関する要素技術およびそれらを統合したエネルギーシステムなどについての講演を幅広く募り、様々な視点から今後のエネルギー技術・システムのあり方について議論するために、炭素系資源利用分科会、熱利用分科会、新エネルギー・エネルギーシステム分科会が合同でシンポジウムを企画する。	炭素系資源利用分科会，熱利用分科会，新エネルギー・エネルギーシステム分科会	窪田 光宏（名大）、小林 潤（工学院大）、神原信志（岐阜大）、小林 敬幸（名大）
次世代エネルギーデバイスおよびその関連技術の展開－材料・プロセス・システム－	燃料電池、太陽電池、二次電池等の次世代エネルギーデバイス技術およびその関連技術は、低炭素社会の実現に向けたキーテクノロジーです。近未来社会におけるそれら新技術の幅広い浸透のためには、個別の材料開発やプロセス技術開発だけでなく、その周辺技術の開発、およびシステム的な観点からの評価も重要です。本シンポジウムでは、燃料電池、太陽電池、二次電池等のエネルギーデバイスおよびその関連技術（電池材料・電極触媒合成、デバイスプロセス、システム評価等）に関する講演を広く募集し、材料、プロセス、システムの研究に基づく幅広い視点から化学工学ならではの討論を行います。また、本シンポジウムは、エネルギー部会、材料界面部会、反応工学部会の共催による部会横断型シンポジウムです。多くの方々のご参加をお持ちしております。	燃料電池分科会	菊地 隆司（東大）、竹中 壮（九大）、津久井茂樹(大阪府大)、田巻孝敬（東工大）、阪本浩規（大阪ガス）、大友順一郎(東大)
バイオ技術によるグリーンイノベーション	昨年に引き続き、バイオマス・バイオ技術利用によるエネルギー生産についての話題と議論の場を提供する。本年も、ガス化、バイオエタノール、バイオディーゼル、メタン発酵などの従来型バイオマスエネルギーから、中長期的視野での発展が期待される光合成蛋白質・色素などを利用した太陽光発電、微生物発電の可能性などの新技術まで幅広く議論したい。多くの講演申込と参加をお願いします。	エネルギー部会（バイオマス分科会）、環境部会、バイオ部会（環境生物分野専門分科会）	松村 幸彦（広大）、常田 聡（早大）、池田 宰（宇都宮大）

資料 24-3 総 2

化工年鑑 2011	10.資源エネルギー	
章・節・題目	執筆者	所属
10.1 化石資源利用	神原信志	岐阜大学大学院工学研究科環境エネルギーシステム専攻
10.2 蓄熱・ヒートポンプ	劉 醇一	東京工業大学原子炉工学研究所 エネルギー工学部門
10.3 燃料電池	田巻 孝敬	東京工業大学 資源化学研究所
10.4 水素エネルギーシステム	花田信子	筑波大学大学院システム情報工学研究科構造エネルギー専攻
10.5 バイオマス	中川浩行	京都大学 環境保全センター
10.6 微量成分	野田 直希	（財）電力中央研究所 エネルギー技術研究所<燃料高度利用領域
取り纏め	加藤之貴	東京工業大学原子炉工学研究所

エネルギー部会　2011 年度(2011 年 3 月～2012 年 2 月)活動報告書

2012 年　2 月　20 日

1. 国際関連事業

月日	行事名	共催･協賛団体	会場	参加者		
				国内	国外	合計
該当無し						

2. シンポジウム･講演会などの行事

月日	行事名	共催･協賛団体	会場	参加者
9 月 27 日	エネルギー部会熱利用分科会第 22 回研究会「京都大学原子炉実験所見学と，原子炉の安全管理と医療利用，電力需給に関する講演」	【主催】エネルギー部会熱利用分科会，日本伝熱学会関西支部伝熱技術フォーラム	京都大学原子炉実験所	35
10 月 24 日-25 日	第 48 回石炭科学会議	【主催】日本エネルギー学会　石炭科学部会;コークス工学研究部会 【共催】化学工学会エネルギー部会、日本学術振興会石炭･炭素資源利用技術第 148 委員会、日本エネルギー学会　重質油部会	朱鷺メッセ　新潟コンベンションセンター	
11 月 9 日	第 11 回バイオマス部会･研究会合同交流会「バイオマス変換技術の今」	【主催】(社)化学工学会エネルギー部会バイオマス分科会、(社)日本エネルギー学会バイオマス部会、(財)バイオインダストリー協会アルコール･バイオマス研究会、バイオマス利用研究会、木質バイオマス利用研究会	キャンパスプラザ京都	50
11 月 21 日-22 日	第 17 回流動化･粒子プロセッシングシンポジウム	【主催】化学工学会粒子･流体プロセス部会流動層分科会 【共催】エネルギー部会	名古屋大学野依記念学術交流館	100

12 月 10 日	「未来エネルギーシステムに関する対話シンポジウム：実装可能なエネルギーシステムの構築にむけて」	【主催】環境省 平成 23 年度環境研究総合推進費「実装可能な技術による我が国の未来エネルギーシステムの構築(RFe11-T1)」 【後援】化学工学会 【協賛】プラチナ構想ネットワーク、石油学会、日本機械学会動力エネルギーシステム部門、東京工業大学環境エネルギー機構；G-COE プログラム「エルギー学理の多元的学術融合」、化学工学会反応工学部会；材料界面部会；エネルギー部会	東京工業大学大岡山キャンパス くらまえホール	100
2012 年 2 月 1 日	JBA アルコール・バイオマス研究会講演会	【主催】バイオインダストリー協会 【協賛】化学工学会エネルギー部会、日本エネルギー学会 バイオマス部会、バイオマス利用 研究会、木質バイオマス利用研究会、日本木材学会バイオマス変換研究会、日本生物工学会 、東京大学アグリコクーン	東京大学農学部弥生講堂	
2012 年 2 月 15 日	第 11回コプロワークショップ エネルギー・物質の併産（コプロダクション）およびエクセルギー再生による革新的省エネルギーと次世代産業基盤の構築	【主催】東京大学エネルギー工学連携研究センター(CEE) 【協賛】東京大学エネルギー・資源フロンティアセンター(FRCER)、東京大学先端電力エネルギー・環境技術教育研究センター（APET）、化学工学会エネルギー部会、日本エネルギー学会、日本機械学会、日本化学会、エネルギー・資源学会、日本鉄鋼協会	東京大学生産技術研究所コンベンションホール	

2012 年 2 月 15 日	エネルギー部会新エネルギー・エネルギーシステム分科会第 1 回研究会，熱利用分科会第 23 回研究会「駒場実証試験住宅 COMMA ハウスの見学会および講演会」	【主催】エネルギー部会エネルギーシステム分科会，熱利用分科会	東京大学生産技術研究所	16

3. 本部大会・支部行事関連行事

月日	行事名	共催・協賛団体	会場	参加者
9 月 14 日	化学工学会第 43 回秋季大会シンポジウム「環境汚染物質としての微量成分の評価と放出制御」	【主催】エネルギー部会	名古屋工業大学	40
9 月 14-16 日	秋季大会シンポジウム「バイオ技術によるグリーンイノベーション」	【主催】エネルギー部会・バイオ部会・環境部会	名古屋工業大学	50
9 月 14 日，16 日	化学工学会第 43 回秋季大会シンポジウム「エネルギーシンポジウム」	【主催】エネルギー部会	名古屋工業大学	200
9 月 14 日，15 日	化学工学会第 43 回秋季大会シンポジウム「次世代エネルギーデバイスおよびその関連技術の展開－材料・プロセス・システム－」	【主催】エネルギー部会、材料・界面部会、反応工学部会	名古屋工業大学	

4. 講習会などの啓発活動

月日	行事名	共催・協賛団体	会場	参加者
11 月 28 日	燃焼の基礎に関する講習会	【主催】日本エネルギー学会	家電会館・東京	63
12 月 9 日	バイオマス利活用施設見学会	【主催】エネルギー部会	ソフトセルロース利活用技術確立事業（農林水産省）「柏の葉ソフトセルロース利活用プロジェクト」 実証実験施設	14
2012 年 2 月 10 日	反応分離講習会 2012	【主催】化学工学会反応工学部会「反応分離分科会」 【協賛】化学工学会分離プロセス部会「膜工学分科会」、化学工学会エネルギー部会、触媒学会、石油学会、日本膜学会、日本エネルギー学会、日本金属学会	岩谷産業株式会社 東京本社 会議室	

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

月日	出版物名	出版社	発行部数
6 月	化学工学 Vol. 75, No.6	化学工学会	?

6. 受託事業の推進

月日	テーマ	委託元	参加人数	期間
該当無し				

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

月日	発行物	発行部数
該当無し		

8. その他

Web Learning Plaza「技術者のための新エネルギーと分散型電源」のレッスン 4「バイオマス」の作成

化学工学会エネルギー部会炭素資源利用分科会
平成２３年度活動報告

化学工学会エネルギー部会熱利用分科会
平成２３年度活動報告

１．平成 23 年度活動報告

(1) 第 43 回秋季大会 シンポジウム「エネルギーシンポジウム」
（炭素系資源利用分科会，新エネルギー・エネルギーシステム分科会との共催）
開催日：平成 23 年 9 月 14 日（水），16 日（金）
講　演：展望講演 2 件，一般講演 27 件
「環境共生居住システムを目指して」（名古屋大学）奥宮 正哉 氏
「船舶を利用した防災スマートグリッド」（東京海洋大学）刑部 真弘 氏

(2) 熱利用分科会 第 22 回研究会
「京都大学原子炉実験所見学と，原子炉の安全管理と医療利用，電力需給に関する講演」
（日本伝熱学会関西支部・伝熱技術フォーラムとの共催）
開催日：平成 23 年 9 月 27 日（火）
会　場：京都大学原子炉実験所（大阪府泉南郡熊取町朝代西 2 丁目）
企画担当者：藤岡 恵子（ファンクショナル・フルイッド）
参加者：58 名
見学会：原子炉のチェレンコフ光と炉室内の医療照射設備，放射性廃棄物処理施設
講演会：
「研究炉の安全確保について」（京都大学原子炉実験所）齋藤 泰司 氏
「中性子線の医療利用」（京都大学原子炉実験所）田中 浩基 氏
「原発減少社会の電力需給を考える」（九州大学稲盛ﾌﾛﾝﾃｨｱ研究ｾﾝﾀｰ）古山 通久 氏

(3) 熱利用分科会 第 23 回研究会
「駒場実証実験住宅 COMMA ハウスの見学会および講演会」
（新エネルギー・エネルギーシステム分科会との共催）
開催日：平成 24 年 2 月 15 日（水）
会　場：東京大学生産技術研究所（東京都目黒区駒場 4-6-1）
企画担当者：中垣 隆雄（早稲田大学），窪田 光宏（名古屋大学）
参加者：15 名
見学会：東京大学生産技術研究所と LIXIL の共同実証実験住宅 COMMA ハウス
講演会：エネルギーシステムインテグレーションー新たな「課題」と「可能性」－
実証実験住宅「COMMA ハウス」の紹介
（東京大学生産技術研究所）萩本 和彦 氏

資料 24-3 総 6

化学工学会エネルギー部会バイオマス分科会
平成２３年度活動報告

資料 24-3 総 7

化学工学会エネルギー部会燃料電池・電池分科会
平成２３年度活動報告

資料 24-3 総 8

化学工学会エネルギー部会
新エネルギー・エネルギーシステム分科会
平成２３年度活動報告

資料 24-3 総 9

化学工学会エネルギー部会微量成分分科会
平成２３年度活動報告

平成 23 年9月 16 日

化学工学会エネルギー部会
平成 23 年度第1回臨時総会議事録(案)

日　時: 平成 23 年9月 15 日(水)12:00-13:00
場　所: 名古屋工業大学学会会場(V会場)
出席者(順不同、敬称略):宮地健、中川紳好、隈部和弘、古山通久、亀山秀雄、鷹觜利公、汲田幹夫、則永行庸、窪田光宏、小倉裕直、瀬戸弘、中川浩行、西村顕、長谷川功、鈴木洋、中垣隆雄、藤岡恵子、堤敦司、松村幸彦、澤浩明、田島康司、植木保昭、成瀬一郎

1. 報告事項

(7) 前回議事録(平成 23 年 3 月 24 日:メール審議)　**: 資料 23-９臨総１**
平成 23 年 3 月 24 日メール審議にて承認済み。

(8) 平成 23 年度部会 CT・部会長合同会議報告　**: 回覧**
成瀬部会長より報告があった。

(9) 部会執行部および幹事　**: 資料 23-９臨総２**
平成 23 年 3 月 24 日メール審議にて承認済み。

(10)平成 23 年度秋季大会エネルギー部会企画シンポジウムについて

i) S-4　アンモニアを用いた CO_2 フリーエネルギーキャリアシステムの将来展望
オーガナイザー:都留稔了(広島大)・中島田豊(広島大)・亀山秀雄 (東京農工大)・上宮成之(岐阜大)

ii) S-34　環境汚染物質としての微量成分の評価と放出制御
オーガナイザー:義家亮(名古屋大)・神柱大助(出光興産)・野田直希(電力中央研)・倉本浩司(産総研)

iii) S-35　エネルギーシンポジウム
オーガナイザー:窪田光宏(名古屋大)・小林潤(工学院大)・神原信志(岐阜大)・小林敬幸(名古屋大)

iv) S-36　次世代エネルギーデバイスおよびその関連技術の展開－材料・プロセス・システム－
オーガナイザー:菊地隆司(東京大)・竹中壮(九州大)・津久井茂樹 (大阪府大)・田巻孝敬(東京工大)・阪本浩規 (大阪ガス)・大友順一郎(東京大)

v) S-37　バイオ技術によるグリーンイノベーション
オーガナイザー:松村幸彦(広島大)・常田聡(早稲田大)・池田宰(宇都宮大)

(11)平成 23 年度予算について　**: 資料 23-９臨総３**
平成 23 年 3 月 24 日メール審議にて承認済み。

(12)共催・協賛等について

- 第 10 回広島大学・産総研バイオマスオープンセミナー(バイオマス分科会、平成 23 年6月 24 日、産業技術総合研究所中国センター)
- バイオエナジー国際会議(バイオマス分科会、平成 23 年6月 29～30 日、ベルギー)
- 第 11 回広島大学・産総研バイオマスオープンセミナー(バイオマス分科会、平成 23 年7月 22 日、産業技術総合研究所中国センター)

・ 日中石炭・C1化学シンポジウム（学術振興会第 148 委員会、平成 23 年8月３～7日、中国・銀川）
・ 産総研バイオマスフォーラム 2011（バイオマス分科会、平成 23 年8月 22 日、産業技術総合研究所中国センター）
・ バイオエナジー国際会議（バイオマス分科会、平成 23 年9月５～９日、フィンランド）
・ 第 10 回プロセスデザイン学生コンテスト（SIS 部会情報技術教育分科会、平成 23 年9月 16 日、名古屋工業大学（化学工学会第 43 回秋季大会会場））
・ 第 12 回広島大学・産総研バイオマスオープンセミナー（バイオマス分科会、平成 23 年9月 21 日、産業技術総合研究所中国センター）
・ 化学工学会エネルギー部会熱利用分科会第 22 回研究会（熱利用分科会、平成 23 年9月 27 日、京都）
・ アルコール燃料国際シンポジウム（バイオマス分科会、平成 23 年 10 月 10～14 日、イタリア）
・ 蓄熱系国際ワークショップ：IEA/ECES Annex 25（熱利用分科会、平成 23 年 10 月 13～14 日、大阪）
・ 熱工学コンファレンス 2011（日本機械学会熱工学部門、平成 23 年 10 月 29～30 日、浜松）
・ 第 17 回流動化・粒子プロセッシングシンポジウム（粒子・流体プロセス部会流動層分科会、平成 23 年 11 月 21～22 日、名古屋大学）
・ バイオテクノロジー国際会議（バイオマス分科会、平成 24 年2月 14～15 日、ドバイ）
・ 第6回高温ガス炉技術国際会議 HTR2012（平成 24 年 10 月 28 日～11 月 1 日、日本科学未来館（東京都江東区））
・ 第 6 回稲盛フロンティア研究講演会（九州大学稲盛フロンティア研究センター）

メーリングリストによる部会会員へのメール配信の際は共催・協賛等を明確にしてほしいとのこと。招待講演者等への旅費等の支出については部会執行部により判断。大学等の教員公募の案内などの配信も可能。

(13)各分科会平成 23 年度活動報告・計画

i) 炭素系資源利用分科会 **：資料 23－９臨総４**

ii) 熱利用分科会 **：資料 23－９臨総５**

平成 23 年9月 27 日（火）開催の熱利用分科会第 22 回研究会「京都大学原子炉実験所見学と原子炉の安全管理と医療利用，電力需給に関する講演」への参加依頼があった。

iii) バイオマス分科会 **：資料 23－９臨総６**

iv) 燃料電池・電池分科会 **：資料 23－９臨総７**

v) 新エネルギー・エネルギーシステム分科会 **：資料 23－９臨総８**

vi) 微量成分分科会 **：資料 23－９臨総９**

(14)賛助会員の特典について **：資料 23－９臨総 10**

成瀬部会長より報告があった。平成 23 年度第1回幹事会で承認済み。

(15)インケム東京について **：資料 23－９臨総 11**

成瀬部会長より報告があった。

(16)その他

・部会 CT 賞受賞

エネルギー部会	東京工業大学	劉醇一氏
バイオ部会	金沢大学	滝口昇氏
分離プロセス部会	山形大学	松田圭悟氏

２. 審議事項

(7) 部会規約の修正について　　**：資料 23−９臨総 12**

修正点について成瀬部会長より説明があった。第4条の賛助会員等に関する規約ついては、今後、検討することとなった。その他の修正については審議の結果承認された。

(8) 部会シンポジウム要旨集の発刊について

化学工学論文集における特集号の開設、あるいは、秋季大会シンポジウムに学生発表賞あるいは優秀ポスター賞等を設けるという意見があり、再度検討することとした。

３. 連絡事項

(3) 次回・総会について

総会：平成 24 年3月 16 日（金）：年会第2日の昼を予定

(4) その他　　**：資料 23−９臨総 13**

神戸大学・鈴木先生より「相変化物質およびスラリーに関する国際会議」の案内があった。

平成23年度 エネルギー部会決算書

エネルギー部会
部会長 成瀬一郎 印

エネルギー部会 損益計算書

（平成23年3月1日から平成24年2月29日まで）

（単位：円）

科目・内訳	予算	決算	差異	備考
Ⅰ．事業活動収支の部				
1．事業活動収入				
① 会費収入	862,000	754,000	108,000	
部会個人会員会費			0	
部会法人会員会費	650,000	750,000	-100,000	
部会学生会員会費			0	
個人賛助会員	12,000	4,000	8,000	
法人賛助会員	200,000	0	200,000	
② 事業収入	100,000	0	100,000	
講演会収入	50,000	0	50,000	
シンポジウム収入	50,000	0	50,000	
③ 分科会収入	300,000	5,800	294,200	
炭素系資源利用分科会収入	50,000	0	50,000	
燃料電池・電池分科会収入	50,000	0	50,000	
熱エネルギー利用分科会収入	50,000	4,800	45,200	
新エネルギー・エネルギーシステム分科会収入	50,000	1,000	49,000	
バイオマスエネルギー分科会収入	50,000	0	50,000	
微量成分分科会収入	50,000	0	50,000	
④ 雑収入	0	0	0	
⑤ 利息収入	3,000	739	2,261	
⑥ 他会計からの繰入金	550,000	730,000	-180,000	
本部より（共催金）	0	0	0	
部会交付金（本部より）	550,000	550,000	0	
秋季大会還付金収入		180,000	-180,000	
事業活動収入計	1,815,000	1,490,539	324,461	
2．事業活動支出				
① 事業費支出	700,000	111,110	588,890	
講演会経費	100,000	0	100,000	
講習会経費	50,000	0	50,000	
シンポジウム経費	200,000	111,110	88,890	
セミナー経費	150,000	0	150,000	
出版費	200,000	0	200,000	
② 分科会事業費	900,000	241,659	658,341	
炭素系資源利用分科会事業費	150,000	21,160	128,840	
燃料電池・電池分科会事業費	150,000	0	150,000	
熱エネルギー利用分科会事業費	150,000	73,130	76,870	
新エネルギー・エネルギーシステム分科会事業費	150,000	50,288	99,712	
バイオマスエネルギー分科会事業費	150,000	97,081	52,919	
微量成分分科会事業費	150,000	0	150,000	
③ 管理費支出	580,000	218,909	361,091	
IT化費	120,000	131,315	-11,315	
会議費	100,000	71,600	28,400	理事会、幹事会費用他
旅費交通費	100,000	0	100,000	
通信運搬費	30,000	8,370	21,630	
消耗品費	10,000	3,057	6,943	
図書費	0	0	0	
雑費	20,000	4,567	15,433	振込手数料他
人件費（アルバイト）	200,000	0	200,000	
④ 他会計への繰出金	0	0	0	
化学工学会本部への繰出（含共催）			0	
事業活動支出計	2,180,000	571,678	1,608,322	
3．事業活動収支差額	-365,000	918,861	-1,283,861	
Ⅱ．投資活動収支の部				
1．特定資産取得収入	0	0	0	
2．特定資産取得支出	0	0	0	
3．投資活動収支差額	0	0	0	
当期収支差	-365,000	918,861	-1,283,861	
前期繰越金		1,254,468	-1,254,468	
次期繰越金		2,173,329	-2,173,329	

エネルギー部会　貸借対照表

（平成24年2月29日現在）

（単位：円）

科目・内訳	当年度末	前年度末	増減	備考
Ⅰ.資産の部				
1. 流動資産				
現金	0	0	0	
預金	2,173,329	1,254,468	918,861	
普通預金　三菱東京UFJ銀行本山出張所	*2,173,329*	*1,254,468*	*918,861*	
			0	
未収金	0	0	*0*	
前払い金	0	0	*0*	
流動資産合計	2,173,329	1,254,468	918,861	
2. 固定資産				
(1)特定資産				
エネルギー部会事業積立資産	3,600,000	3,600,000	0	
普通預金　三菱東京UFJ銀行本山出張所	*3,600,000*	*3,600,000*	*0*	
特定資産計	3,600,000	3,600,000	0	
固定資産合計	3,600,000	3,600,000	0	
資産合計	5,773,329	4,854,468	918,861	
Ⅱ.負債の部				
1. 流動負債				
未払金	0	0	0	
負債合計	0	0	0	
Ⅲ.正味財産の部				
1. 指定正味財産	0	0	0	
2. 一般正味財産	5,773,329	4,854,468	918,861	
正味財産合計	5,773,329	4,854,468	918,861	
負債及び正味財産合計	5,773,329	4,854,468	918,861	

上記　損益計算書、貸借対照表を監査し、適切と認めます。

エネルギー部会監事

平成24年3月　/　日

小林 信介　印

平成24年　月　　日

印

会計監査報告

（社）化学工学会エネルギー部会 平成23年度分の会計について監査を行った結果，適正に処理されているものと認める。

平成24年3月1日

小林 治介 印

化学工学会 第44回秋季大会 エネルギー部会系 シンポジウム			
シンポジウムタイトル	概要	担当分科会	オーガナイザー
次代を担う各種電池等のエネルギ-デバイス-その材料からシステムまで-	燃料電池、太陽電池、二次電池等の次世代エネルギーデバイス技術およびその関連技術は、低炭素社会の実現に向けたキーテクノロジーです。近未来社会におけるそれら新技術の幅広い浸透のためには、個別の材料開発やプロセス技術開発だけでなく、その周辺技術の開発、およびシステム的な観点からの評価も重要です。本シンポジウムでは、燃料電池、太陽電池、二次電池等のエネルギーデバイスおよびその関連技術(電池材料・電極触媒合成、デバイスプロセス、システム評価等)に関する講演を広く募集し、材料、プロセス、システムの研究に基づく幅広い視点から化学工学ならではの討論を行います。学生発表者を対象とした表彰も計画しています。また、本シンポジウムは、エネルギー部会、材料界面部会、反応工学部会の共催による部会横断型シンポジウムです。多くの方々のご参加をお持ちしております。	燃料電池・電池分科会 材料界面部会、反応工学部会	中川 紳好(群馬大)、冨重 圭一(東北大)、田巻孝敬(東工大)、西村 顕(三重大)、松永 健太郎(東芝)、古山道久(九大)
エネルギーシンポジウム	東日本大震災を機に，エネルギー資源および電源の確保が国民的関心事となっており，化石燃料の有効利用，未利用・自然エネルギーの利活用，省エネ技術・システムの開発など山積するエネルギー課題に対する技術的解決策が今まさに求められている。本シンポジウムでは，以下に示すトピックスを中心にエネルギーに関連する基礎研究から応用技術までの講演を広く募集し，エネルギー技術の革新に資する議論の場を提供する。1)化石燃料やバイオマス等の炭素系資源からのエネルギー発生・変換，2)各種エネルギーの回収・貯蔵・再利用，3)水素利用とエネルギーシステム，4)燃焼および環境保全	炭素系資源利用分科会，熱利用分科会，新エネルギー・エネルギーシステム分科会，微量成分分科会	汲田 幹夫(金沢大)、神原 信志(岐阜大)、中垣隆雄(早稲田大)、義家 亮(名大)

化工年鑑 2012　　10.資源エネルギー

章・節・題目	執筆者	所属
10.1 化石資源利用	神原 信志	岐阜大学
10.2 蓄熱・ヒートポンプ	汲田 幹夫	金沢大学
10.3 燃料電池	大友順一郎	東京大学
10.4 水素エネルギーシステム	坂田 興	エネルギー総合工学研究所
10.5 バイオマス	野田玲治	群馬大学
10.6 微量成分	義家 亮	名古屋大学
取り纏め	成瀬 一郎	名古屋大学

エネルギー部会　2012 年度(2012 年 3 月～2013 年 2 月)事業計画書

1. 国際関連事業

主催：10th Yokohama Trace Element Workshop、場所：黄山（Huangshan）　中国、日程：2012 年 7 月 3 日～7 日

（9th China-Korea Workshop on Clean Energy Technology との共催）

2. シンポジウム・講演会などの行事

協賛：石炭科学会議、2012 年 10 月 24 日、25 日、釧路

第 24 回熱利用分科会研究会（2012 年 7～9 月，開催地，内容等未定）

第 25 回熱利用分科会研究会（2012 年 11～1 月，開催地，内容等未定）

新エネルギー・エネルギーシステム分科会　第 2 回研究会開催　2012 年 6-9 月（熱利用分科会と合同）

共催：第 12 回バイオマス合同交流会、詳細未定

他の団体と共催で、シンポジウムを企画予定。

3. 本部大会・支部行事関連行事

化学工学会第 44 回秋季大会　エネルギー部会主催シンポジウム、2012 年 9 月、東北大

（炭素系資源利用分科会，熱利用分科会，新エネルギー・エネルギーシステム分科会，微量成分分科会共同開催）

秋季大会バイオマスセッションの開催、日時：2009年9月19日（水）～21日（金）、会場：東北大学

（バイオ部会・環境部会・エネルギー部会の3部会共催　詳細調整中）

2012 年度秋季大会シンポジウム 「次代を担う各種電池等のエネルギーデバイス　-その材料からシステムまで-」

（エネルギー部会（燃料電池・電池分科会）/材料・界面部会/反応工学部会の3部会共催企画）

4. 講習会などの啓発活動

協賛：燃焼の基礎講習会、全国家電会館、2012 年 11 月

バイオマス利活用施設の見学・講演会、詳細未定

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

「バイオマス・プロセス・ハンドブック（仮称）」の編集、3 月に第 3 回編集委員会、2012 年春に出版予定

「新編　化学工学（共立出版（株））」、3 月に出版予定

6. 受託事業の推進

なし

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

炭素系資源利用分科会 Web ページ更新、2012 年 10 月

8. その他

炭素系資源利用分科会幹事会、2012 年 9 月 21 日、東北大学

2012 年度秋季大会シンポジウム「次代を担う各種電池等のエネルギーデバイス　-その材料からシステムまで-」において、若手研究者からの積極的な発表と活発な質疑を促すことを目的に、若手研究賞（仮称）を設ける。

平成24年度　部会　収支予算書

（平成24年3月1日から平成25年2月28日まで）

エネルギー部会

部会長　成瀬一郎　　印

（単位：円）

科目・内訳	H24年度予算	H23年度予算	差異	備考
Ⅰ．事業活動収支の部				
1．事業活動収入				
①会費収入	762,000	862,000	-100,000	
部会個人会員会費			0	本部へ入金
部会法人会員会費	650,000	650,000	0	
部会学生会員会費			0	免除
個人賛助会員	12,000	12,000	0	化学工学会非会員
法人賛助会員	100,000	200,000	-100,000	化学工学会非会員
②事業収入	100,000	100,000	0	
講演会収入	50,000	50,000	0	
シンポジウム収入	50,000	50,000	0	
③分科会収入	300,000	300,000	0	
炭素系資源利用分科会収入	50,000	50,000	0	
燃料電池・電池分科会収入	50,000	50,000	0	
熱エネルギー利用分科会収入	50,000	50,000	0	
新エネルギー・エネルギーシステム分科会収入	50,000	50,000	0	
バイオマスエネルギー分科会収入	50,000	50,000	0	
微量成分分科会収入	50,000	50,000	0	
④雑収入		0	0	
⑤利息収入	3,000	3,000	0	
⑥他会計からの繰入金	550,000	550,000	0	
本部より（共催金）		0	0	
部会交付金（本部より）	550,000	550,000	0	
秋季大会還付金収入			0	
事業活動収入計	1,715,000	1,815,000	-100,000	
2．事業活動支出				
①事業費支出	700,000	700,000	0	
講演会経費	100,000	100,000	0	
講習会経費	50,000	50,000	0	
シンポジウム経費	200,000	200,000	0	
セミナー経費	150,000	150,000	0	
出版費	200,000	200,000	0	
外部団体への助成金、負担金			0	
②分科会事業費	900,000	900,000	0	
炭素系資源利用分科会事業費	150,000	150,000	0	
燃料電池・電池分科会事業費	150,000	150,000	0	
熱エネルギー利用分科会事業費	150,000	150,000	0	
新エネルギー・エネルギーシステム分科会事業費	150,000	150,000	0	
バイオマスエネルギー分科会事業費	150,000	150,000	0	
微量成分分科会事業費	150,000	150,000	0	
③管理費支出	480,000	580,000	-100,000	
IT化費	120,000	120,000	0	
会議費	100,000	100,000	0	理事会、幹事会費用他
旅費交通費	100,000	100,000	0	
通信運搬費	30,000	30,000	0	
消耗品費	10,000	10,000	0	
図書費	0	0	0	
雑費	20,000	20,000	0	振込手数料他
人件費（アルバイト）	100,000	200,000	-100,000	
④他会計への繰出金	0	0	0	
化学工学会本部への繰出（含共催）			0	
事業活動支出計	2,080,000	2,180,000	-100,000	
3．事業活動収支差額	-365,000	-365,000	0	
Ⅱ．投資活動収支の部				
1．特定資産取崩収入	0	0	0	
2．特定資産取得支出	0	0	0	
3．投資活動収支差額	0	0	0	
当期収支差	-365,000	-365,000	0	
前期繰越金			0	
次期繰越金			0	

平成２４年度予算　事業明細

（単位：円）

	部会	分科会	合計
	事業収入・事業費支出	分科会収入・分科会事業費	
収入計	100,000	300,000	400,000
支出			
運営費	150,000	900,000	1,050,000
旅費交通費（職員）	0		0
施設利用料	100,000		100,000
通信費	25,000		25,000
印刷製本費	0		0
諸謝金	300,000		300,000
雑費	25,000		25,000
臨時雇賃金（ｱﾙﾊﾞｲﾄ）	100,000		100,000
支出計	700,000	900,000	1,600,000
収支差	-600,000	-600,000	-1,200,000

化学工学会「エネルギー部会」規約

2001.4.2 制定，2002.3.27，2002.12.20，2004.4.3，2011.9.15 改訂

（総則）

第1条　本会は~~(社)~~（公社）化学工学会の部会規定により設置され，「エネルギー部会」と称する（英文名；Division of Energy Engineering）．事務局は当部会の代表者の所属する機関とする．

（目的）

第2条　本会は化学工学会のエネルギーに係る専門分野の代表機関として，エネルギーの開発から蓄熱，熱輸送，エネルギー利用まで，エネルギーに関連する諸課題について，横断的に学術および技術の向上，交流を促進し，産官学間の基礎研究，基盤研究，応用研究開発の有機的な連携をはかることを目的とする．

（事業）

第3条　本会の目的を達成するため，次の事業を行う．

1）　エネルギー開発，転換，蓄熱，熱輸送，効率的エネルギー利用等，エネルギーに関連する研究

2）　講演会，講習会，見学会の開催

3）　調査および資料，情報の収集・整備と交換

4）　国際会議，化学工学会シンポジウムの開催と支援

5）　その他，本会の目的の達成に必要な事業

（構成）

第4条　本会は個人会員，賛助会員，学生会員，~~部会~~特別会員，名誉会員で構成される．

個人会員は化学工学会正会員のうち，部会に参加を希望した全員である．

賛助会員は~~化学工学会法人会員のうち~~，部会活動に参加を希望した全員であり，事業所・研究所別に賛助会員の登録ができる．

学生会員は化学工学会学生会員のうち，部会に参加を希望した全員である．

~~部会~~特別会員は，化学工学会~~正会員以外の個人会員，化学工学会法人会員以外の法人会員であり，化学工学会準会員として扱われる~~の会員でない正会員あるいは学生会員である．

名誉会員は，本会の特に功労のあった会員で，~~総会~~幹事会での推薦，承認をもって決定される．

（入会および退会）

第5条　入会および退会は書面により提出し，幹事会で承認を得るものとする．会費の滞納が 1 年以上におよぶ会員は会員の資格を放棄したものとみなす．

（役割およびその任期）

第6条　本会に次の役員をおくことができる．

部会長 1 名．副部会長若干名，部会幹事若干名，庶務幹事1名，会計監事~~2~~1名．また，分科会をおく場合は，分科会正代表1名，副代表者~~各~~1 名ないし2名，分科会幹事若干名をおくことができる．役員の任期は，原則として 2 年間とし，部会長を除き再任を妨げない．任期半ばで交代した場合の任期は前任者の後任期間とする．

部会長は退任後，~~総会~~幹事会の承認を得て顧問幹事となることができる．顧問幹事には任期は定めない．

（役員の職務）

第7条　部会長は本会を代表し，会務を総括する．

副部会長は，部会長を補佐し，円滑な会務の遂行を行う．

幹事は，本会の運営および諸行事の企画立案およびその業務を執行し，職務，会計，企画を分担する．分科会正副代表者および分科会幹事は幹事~~を~~も兼任する．

会計監事は部会の財政および業務を監査する．

分科会正副代表者は，各分科会を代表し分科会の会務を総括する．

分科会幹事は，分科会の運営および諸行事の企画立案およびその業務を執行する．

（役員の選出）

第8条　部会長の選出は部会会員の推薦をもとに幹事会で候補者を協議した上，総会にて選出する．

総会にて部会長選出後，部会担当理事を通じて化学工学会理事会が承認する．

副部会長，庶務幹事，会計監事，幹事，分科会正副代表者は部会長が任命し，~~総会~~幹事会にて承認する．

なお，部会長は幹事会の議を経て随時幹事を任命できる．新たに任命された幹事の承認は次の~~総会~~幹事会にて行う．

（役員の罷免）

第9条　本会にとって著しく不利益が生じるもしくは本会にふさわしくないと判断された場合は，会員からの申し出により，当該役員の処遇について~~監事を含めた~~幹事会で協議したのち，正当な根拠とともに総会に審議を諮る．

（分科会の設置）

第10条　本会の目的を達成するための分科会を設置することができる．

分科会の設置，期間延長および改廃と正副代表者は幹事会で協議の上，総会の承認により決定する．

分科会の設置期間は 2 年とするが，必要に応じて期間を延長することができる．

分科会幹事は分科会代表者が任命し，~~部会~~幹事会にて承認する．

（部会幹事会）

第11条　~~部会~~幹事会は，部会長，副部会長，庶務幹事，会計監事，幹事により構成し，必要に応じて部会長が召集する．

幹事会は次の事項を行う．

1) 会の設置および継続に関する事務
2) 会員の入退会
3) 化学工学会との連絡
4) 事業計画、予算および決算案の立案
5) 分科会正副代表者の選出および分科会幹事の承認
6) 次期部会長候補の選出
7) その他，本会の運営と事業の執行に必要な事項

（総会）

第12条　総会は年 1 回行い，部会長がこれを召集する．ただし，部会長は必要に応じて臨時総会を召集できるものとする．

総会では次の事項を行う．議決は出席者の過半数の賛成による．

1) 事業，会務報告とその承認
2) 事業計画，予算の承認
3) 役員の改選
4) 規約の改正および細則の制定と改正
5) その他，本会に必要な事項の決定

（部会事務局）

第13条　部会事務局は部会長の下で，部会の事務一般を掌握する．部会事務局員の任命は，~~部会~~幹事会の議を経て部会長が行う．

（会計）

第14条　経理は化学工学会との連結決算となる．本会の運営に必要な経費は，会費，寄付金，委託研究費および事業収入を以てこれにあてる．部会運営経費の 10%を部会関連事業経費・管理費として化学工学会本部へ納める．受託研究の受け入れに伴う経費の扱いについては，事実が発生した時点で，幹事会にて協議，規定する．余剰金は，次年度へ繰り越しできる．

（会費）

第15条　個人会員の会費は化学工学会の定める規程に従う．賛助会員，~~部会~~特別会員は幹事会にて別途定める額の年会費を納める．名誉会員，学生会員は会費を納めなくても良い．

（細則）

第16条　本規約の実施に関して必要が生じた場合には細則を定めることができる．細則の制定と改正は総会の承認をもって成立する．

（規約の改正）

第17条　本規約は，総会の承認をもって改正することができる．

（付則）

第18条　本規約は 2001 年 4 月 2 日より施行する．